

[令和6年度～
令和7年度]

花いっぱい運動推進協議会活動報告



あきる野市花いっぱい運動推進協議会

令和8年3月

花いっぱい運動推進協議会活動報告について

あきる野市の花いっぱい運動は、地域のまちづくりの一環として、生活環境を美化し、美しいまちづくりに資することを目的としている。その目的を達成するために、花いっぱい運動推進協議会が設置され、花いっぱい運動を推進するための方策などについて協議している。

協議結果に基づき、市によって以下の事業が行われている。

- ①町内会・自治会による地域の花壇への花の植え付け
- ②花づくりボランティアグループによる公共施設等への花の植え付け及び維持管理
- ③個人の庭を公開していただくオープンガーデン事業
- ④ガーデニング講習会

ここで令和6年度から令和7年度の協議会の活動内容及び花いっぱい運動の事業経過等を報告する。

令和8年3月

あきる野市花いっぱい運動推進協議会

会 長	山崎 秀博
副会長	松下 康子
委 員	森田 勝
委 員	志村 修司
委 員	岡野 一夫
委 員	安部 光記
委 員	木住野盛男
委 員	海老原澄子
委 員	野口 金雄

花いっぱい運動推進協議会活動報告目次

1	花いっぱい運動推進協議会の活動	1
	(1) 花壇コンクールについて	1
	(2) 先進地視察について	3
2	事業経過	4
	(1) 町内会・自治会が参加する事業	4
	(2) 花づくりボランティアグループが参加する事業	5
	(3) オープンガーデン事業	5
	(4) ガーデニング講習会	7
	(5) レンゲ草復活事業	7
3	来年度からの事業展開について	8
4	参考資料	8
	(1) 花苗植え付け状況の推移	

1 花いっぱい運動推進協議会の活動

花いっぱい運動推進協議会は、町内会・自治会連合会の役員6人、花の知識がある者、及び花づくりボランティアの代表者2人を合わせた9人で組織されている。地域のまちづくり事業の一環として、花いっぱい運動を推進することによって生活環境を美化し、美しいまちづくりに資することを目的に、花壇コンクールや視察等を通じて花いっぱい運動の事業展開などについて検討を行っている。

令和6年度の活動

- 5月28日 花いっぱい運動推進協議会委員委嘱式及び令和4年度第1回会議
- 7月 5日 花壇コンクール審査会（17町内会・自治会、18花壇が参加）
- 10月2日 先進地視察研修及び第2回会議
視察地：調布市
- 3月26日 第3回会議

令和7年度の活動

- 7月 4日 花壇コンクール審査会（14町内会・自治会、14花壇が参加）
- 10月7日 先進地視察研修及び第1回会議
視察地：坂戸市
- 3月23日 第2回会議

（1）花壇コンクールについて

花壇コンクールは、花いっぱい運動のより一層の推進とPRを目的として、花いっぱい運動に参加している町内会・自治会の春植え花壇を対象に実施している。

審査の方法は、花いっぱい運動推進協議会委員が審査員となって各花壇を巡回し、以下の4つの審査項目についてそれぞれ10点満点で審査して、合計得点で選出した。

- ① 草花の生育状況
 - ・花や葉に十分に栄養が行き届いているか。
 - ・花や葉にしおれなどがなく色つやが良いか。
- ② 花壇のデザイン
 - ・花の種類、色、形、高さ、配置などを工夫して花を植えているか。
 - ・花壇の形などを工夫しているか。
 - ・飾り方を工夫しているか。
- ③ 花壇の手入れ状況
 - ・花柄摘み、雑草の処理、灌水、病虫害対策、水はけなど
- ④ 花壇への取り組み姿勢・総合評価

令和6年度は、17町内会・自治会から18花壇、令和7年度は、14町内会・自治

会から14花壇の参加があり、「道路部門」「公園・広場部門」別に金賞花壇、銀賞花壇、銅賞花壇を選出した。

入賞した町内会・自治会には、入賞看板を作製し花壇に立てていただいている。また、審査結果については、市の広報及びホームページに掲載し、花いっぱい運動をPRした。

【花壇コンクールの講評】

※以下は協議会から花壇コンクール参加団体へ送付した講評の抜粋である。

各団体の花壇は、花壇の場所によって、土の中に石が多かったり、水の確保が大変など、様々な制約がある中で、水やりや除草、花柄つみなど、こまやかに管理されており、色鮮やかな美しい花が咲いていました。また、花壇のデザインについては、テーマを念頭に花で表現するための、それぞれ工夫が凝らされており、個々の花壇の特性に合わせて、植える花の種類や花壇のデザインなどがよく研究、実践されていると感じました。

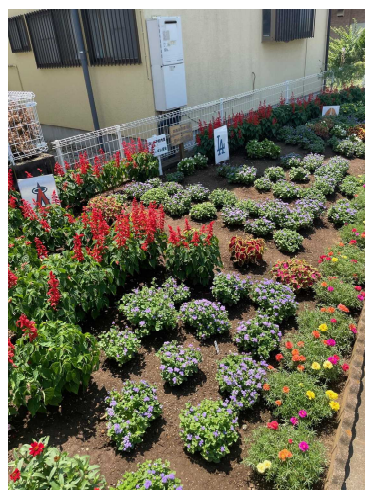
【花壇コンクール審査結果】

(令和6年度)

部門	最優秀花壇	優秀花壇	優良花壇
道路部門	西ヶ谷戸町内会	二宮町内会	三内自治会
公園・広場部門	油平自治会	富士見台自治会 雨間町内会	油平本町町内会 小中野自治会 平沢町内会



6年度
公園・広場部門
最優秀花壇
油平自治会



6年度
道路部門
最優秀花壇
西ヶ谷戸町内会

(令和7年度)

部門	最優秀花壇	優秀花壇	優良花壇
道路部門	二宮町内会	三内自治会	西ヶ谷戸町内会
公園・広場部門	富士見台自治会	雨間町内会 小中野自治会	平沢町内会



7年度
公園・広場部門
金賞花壇
富士見台自治会



7年度
道路部門
金賞花壇
二宮町内会

（２）先進地視察について

視察については、あきる野市の花いっぱい運動を積極的に推進し、今後の事業の参考になる事柄などを考慮しながら視察先を決定し実施している。令和６年度は、調布市、令和７年度は坂戸市を視察した。

【令和６年度】

町内会・自治会だけでなく、一般市民参加による花いっぱい運動が活発な地域を視察し、今後の花いっぱい運動事業の参考とした。

（視察内容）

調布市役所会議室にて、調布市環境部緑と公園課の職員から、調布市花いっぱい運動及びおもてなしガーデンについての説明を受けた。その後、調布市花いっぱい運動に参加している花壇３か所を見学した。

質疑応答や意見交換を通じて、町内会・自治会だけでなく一般市民も参加する花いっぱい運動の補助金制度や花いっぱい運動参加要件、また調布市内の駅前にあるおもてなしガーデンの管理方法などを学んだ。

【令和７年度】

他行政による花のまちづくり事業を視察し、今後の花いっぱい運動事業の参考とした。

（視察内容）

坂戸市役所会議室にて、環境産業部環境政策課の職員から、座学で坂戸市による花のまちづくり事業についての説明を受け、質疑応答や意見交換を通じ理解を深めた。その後、オープンガーデン２カ所（ビズガーデニング株式会社・関谷宅）を見学した。

質疑応答や意見交換を通じボランティアの関わり方や、講習会の方法などについて学ぶことができた。



令和6年度
調布市
視察研修の様子



令和7年度
坂戸市
視察研修の様子

2 事業経過

(1) 町内会・自治会が参加する事業

① 実施方法

花いっぱい運動に参加を希望する各町内会・自治会の花壇の面積に、1㎡当たり1,584円を乗じて得た額の10分の8を補助金として支給した。補助対象は、花の種苗、球根、土及び肥料の購入に要する経費とした。また、植え付け期間は5月末から11月末までとし、多くの町内会・自治会が春季と秋季の一斉清掃日に合せて実施している。令和6年度は39団体、令和7年度は36団体が参加した。

② 支援花壇について

支援花壇とは、花壇コンクールで入賞した団体に、花苗や土、肥料を配布し、秋季の植付けを行ってもらう花壇のことである。令和6年度及び令和7年度の支援花壇は、以下のとおりである。

令和6年度秋季支援花壇一覧

町内会・自治会名	場 所	秋季植え付け数
雨間町内会	鳥居場会館駐車場	パンジー×94、ビオラ×95
二宮町内会	二宮本宿交差点	花苗×179
平沢町内会	平沢会館	パンジー×120、葉ボタン×12
油平自治会	秋川駅南口運動場内	ビオラ×98、金魚草×72、ハボタン×30、ストック×48、ノースポール×72
油平本町町内会	町内会農園	パンジー×99、スミレ×99、ビオラ×100
富士見台自治会	富士見台自治会北公園	パンジー×220、スミレ×220、ビオラ×221
西ヶ谷戸町内会	いなげや新草花店東南	パンジー×100、スミレ×104、ビオラ×101

三内自治会	三内中央通り	パンジー×９６、ビオラ×９６
小中野自治会	雪沢公園	パンジー×３６０、チューリップ球根×４０

令和７年度秋季支援花壇一覧

町内会・自治会名	場 所	秋季植え付け数
雨間町内会	鳥居場会館駐車場	パンジー×３４５、ユリオプスデージー×１
二宮町内会	二宮本宿交差点	花苗×１７９
平沢町内会	平沢会館	パンジー×９３、ビオラ×２５、葉ボタン×１５、白妙菊×１０
富士見台自治会	富士見台自治会北公園	パンジー×２２６、スミレ×２３４、ビオラ×２０１
西ヶ谷戸町内会	いなげや新草花店東南	パンジー×１０６、スミレ×１０６、ビオラ×１１２
三内自治会	三内中央通り	パンジー×４５
小中野自治会	雪沢公園	チューリップ球根×５０、ビオラ・パンジー×３６０、葉ボタン×１０

(２) 花づくりボランティアグループが参加する事業

花づくりボランティアグループは、現在以下の２団体である。楓ヶ原会館のビニールハウスで種から花を育苗し、年間を通じ市役所庁舎花壇、五日市出張所の花壇等に育てた花を供給し、継続的に花壇の維持管理を行い、四季を通じて色鮮やかな美しい花を咲かせている。

花づくりボランティアグループ

1	なでしこの会	平成 7 年結成	会員 5 人
2	さくら草の会	平成 1 1 年結成	会員 9 人

花苗供給先

市役所庁舎花壇、五日市出張所、中央公民館、都立あきる野学園、五日市センター、マールボロウ通りプランター（令和５年度から） ほか

(３) オープンガーデン事業

花いっぱい運動推進協議会で視察検討を重ね、平成１８年度から開始した事業である。あきる野市のオープンガーデンは、お庭を公開していただいている方の善意と厚意によってボランティアで実施している。毎年、登録していただいているお庭の地図や公開期間等を掲載したオープンガーデンマップを作製し、公共施設での配布やホームページで

公開している。オープンガーデンの年間見学者数は、令和6年度は約3,000人、令和7年度は約2,000人となっている。

例年この事業のPRを目的に、オープンガーデンをバスと徒歩で見学する「オープンガーデンめぐり」事業を実施している。事業実施後に参加者を対象としたアンケートでは、参加者の満足度は高く、草花への関心の高さがうかがえた。なお、令和7年度はオープンガーデン登録者ではないが、オープンガーデンめぐりの時だけ公開可能なお庭を1件見学させていただいた。

また、オープンガーデン写真展を中央図書館、東部図書館エル、五日市出張所、あきる野市役所の4か所で開催した。令和4年度から新たな試みとして、あきる野市役所の展示期間において、オープンガーデン登録者の協力のもと、実際の鉢植えを展示している。

令和6年度	オープンガーデン公開軒数（地区別）		オープンガーデンめぐり参加者数
	東秋留地区	3軒	
令和7年度	西秋留地区	3軒	22人参加（5／14、5／20実施） ウォーキングガイド 野口金雄氏
	多西地区	1軒	
	増戸地区	1軒	
	五日市地区	1軒	
令和7年度	オープンガーデン公開軒数（地区別）		31人参加（5／14、5／16実施） ウォーキングガイド 野口金雄氏
	東秋留地区	3軒	
	西秋留地区	3軒	
	多西地区	1軒	
	増戸地区	2軒	
	五日市地区	1軒	



令和6年度
オープンガーデ
ンめぐり様子



令和7年度
オープンガーデ
ン写真展の様子

また、オープンガーデン事業打合せ会を実施した。次年度のオープンガーデンマップやポスターのデザイン、オープンガーデン登録件数を増やすためのアイデアについてなどを打合せした。また、打合せ中は害虫対策や近隣の花屋情報についてなど庭主同士の活発

な交流が行われた。

(4) ガーデニング講習会

令和6年度から、ガーデニングを通じて人々の交流を深めることにより、市内のお花好きな人たちの裾野を広げるとともに、花や緑にあふれるうるおいのあるまちづくりを目指すことを目的として、ガーデニング講習会を行っている。

実施年度	テーマ・講師	日程	参加者数
令和6年度	テーマ：種から花を育ててみよう 講 師：野口金雄氏	令和6年9月21日	18人
	テーマ：寄せ植えを楽しもう 講 師：大川原芳子氏・海老原澄子氏	令和6年10月19日	21人
令和7年度	テーマ：種から花を育てよう 講 師：野口金雄氏	令和7年8月16日、 30日	19人
	テーマ：季節の寄せ植えを楽しもう～ ガーデニングの基本を学ぶ 講 師：大川原芳子氏・海老原澄子氏	令和7年11月15日	20人

(5) レンゲ畑復活事業

当協議会が平成17年度の検討報告書の中で提案したレンゲ畑復活事業については農林課が担当し、平成21年度から行っている。

令和6年度及び7年度は、引田地区及び五日市（小庄）地区の8,751㎡の田んぼにレンゲを植え付けている。当事業は、今後も継続していく予定である。

3 来年度からの事業展開について

あきる野市の花いっぱい運動は、地域のまちづくりの一環として、生活環境を美化し、美しいまちづくりに資することを目的に進められている。その目的を達成するために、今後も限られた予算を有効に使い、町内会・自治会による地域の花壇等への植え付けをはじめとする花壇等の維持管理事業、花づくりボランティアグループによる事業、オープンガーデン事業を市民との協働により推進していく。

また、これまでの協議会では、委員から今後の事業展開について、以下のような意見が出ている。

【協議会で出された課題等及び今後の取組】

① オープンガーデン事業は、花いっぱい運動推進協議会で視察検討を重ね、開始した。オープンガーデン登録者の高齢化や新規登録者が増えていない状況下で、市としては事業継続は難しいと考えているが、庭主からは事業継続を望む意見がある。敷地に入らず外から見る形でも良いということで登録者増加に努めるが、いつまで事業継続をするかは検討する必要がある。

（協議会で委員から出た意見）

- ・世の中物騒になってきているから、オープンガーデンに登録することは勇気がいる。
- ・庭主の気持ちが重要であるが、登録者が減っていったら事業を終了することも考えても良いと思う。
- ・敷地外から見れるお庭を増やす場合、オープンガーデンの表示を掲示しないと見学者は不審者だと思われる。
- ・玄関先限定オープンガーデンを聞いたことがある。
- ・登録する・しないとなると抵抗がある人がいるかもしれない。マップには載せないお庭があっても良いのではないかな。

（今後の取組）

庭主の意見を聞きながら、今後の事業展開について検討する。

② 視察研修に花壇コンクール参加町内会・自治会の代表者（１名）にも参加していただき、花壇づくりの参考としていただきたい。（委員総意）

③ 春や秋の時期に花いっぱい運動の重点期間を設けて実施してみたらどうか。

4 参考資料

(1) 花苗植え付け状況の推移

年度	春の植え付け		秋の植え付け	
	団体数	株数	団体数	株数
R 1	4 5 団体	2 0, 6 4 8 株	1 1 団体	5, 1 5 3 株
R 2	4 1 団体	1 8, 6 6 0 株	3 3 団体	※花壇コンクールが中止となり、入賞団体への花苗の支給ができないため、花いっぱい運動参加団体で希望する団体に面積に応じて、花苗、培養土、肥料を購入し支給した。
R 3	4 2 団体	1 9, 1 6 6 株	1 0 団体	2, 5 5 8 株
R 4	4 2 団体	2 0, 6 1 6 株	1 0 団体	2, 4 5 5 株
R 5	4 1 団体	2 0, 2 5 2 株	1 0 団体	2, 4 2 3 株
R 6	3 9 団体	1 9, 3 6 8 株	1 0 団体	2, 6 7 6 株
R 7	3 6 団体	1 6, 8 8 2 株	7 団体	2, 4 3 8 株